



2 学年便り

令和5年7月20日7月号

大和市立下福田中学校

文責 2学年主任

6月29日「みんなのしるし」による、「いのちてんでんこ」演劇公演がありました。前日から照明機材などの大掛かりな準備をされ、迫力のある舞台となりました。当日は、音楽、踊りで楽しみつつも、東日本大震災の悲劇を訴える内容に生徒たちは真剣に見入っていました。劇中、2年生の代表5名が踊りに参加。会場の声援を受けていました。

代表者

紙面版にてご確認ください

東日本大震災がテーマになっていて、本当にこんなに大きな地震が日本で起きたんだと改めて実感できました。出演者の人たちの熱い演技が今回のテーマについて深く考えさせられるような気がして、本当にすごいなと思いました。みんなで手拍子をしているときは、全学年がまとまった感じがしました。ストーリーは面白い場面もあったけど、身内が亡くなってしまう場面などは心が痛くなりました。本当に家族を亡くした人たちもいると思うと、今回の劇のような感じなんだろうなと思いました。もし、今後も大きい地震が来たら、困る人や悲しむ人がでないように、自分で行動していきたいなと強く思いました。でも、いざ波がこっちに向かってきたら、絶対焦ってしまうと思うので、まずは命を大事にして今後に備えていきたいです。本当にすごかったです。また、見たいです。

怖いところもあったけど、最後で明るくなった東日本大震災の話でした。まさか、避難場所まで流されるなんてものすごく大きな津波だと思いました。「いのちてんでんこ」を思い出して生きていこうと思います。これから僕たちも何か役に立てたらうれしいです。皆さんが東日本大震災の劇をしてくれたから、いろいろなことを学びました。皆さんが協力したからこのとてもいい劇が作れたんだなと思いました。僕も世界に1つだけの劇を仲間と作りたいです。

皆さん一人一人が迫力のある演技で声も大きかった。また踊りのところでは、全員の息がそろっていたし、ダイナミックで津波の恐ろしさがとても伝わってきました。自分は東日本大震災の時、とても小さい時で記憶にないけれど、近々大きな地震がくるという噂を聞いたので、大きな地震が起こったら上のほうに逃げるようにして、自分の家は川の近くにあるので気を付けるようにしたいです。今回の「いのちでんこ」を見て、東日本大震災が起こった時の状況がわかりました。地震はいつどこで起きるのかわからないので、地震のための対策をしっかりしたいと思います。

「いのちでんこ」を見て、自然災害が起きたとき、まず優先するのが自分の命で家族と会うのは助かってからって言う考えは東日本大震災以上の地震がくるって言われている現代では、とても大切なものだと思います。そして、一番早く簡単に人々を勇気づけ、復興を進められるのは伝統を終わらせないことだと今回の「いのちでんこ」を通して思った。前の時はまだとても小さかったから全然覚えていないけど、次に来るとしたら確実に大人たちは私たちの年代の子には「自分で考えて逃げろ」と言うだろう。いざ、そういう場面におちいったとき、本当に私は「いのちでんこ」できるだろうか。災害から逃げ切れるだろうか。逃げ切れた後、本当に家族や友人たちと会えるだろうか。家はどうなってしまうのか。逃げ切れなかったら、とてもたくさんの可能性を考えさせられる。そんな時間だった。

その時間の中で代表5人が出て、共に踊っていた場面で、2年生へ向けたワークショップでみんなが描いた「〇〇と言ったら」の画像が出てきた。その時みんなで笑いあって過ごせるのは当たり前のことではないと思った。最後に見終わったあと、一番強く心に思ったこと「いのちでんこ」という言葉をこれから先、自分と関わる人に伝えていきたいと思った。より多くの人が助かって生きて家族、友人と会えるように。これから「いのちでんこ」を広めていきたい。

本校では、防災学習に全学年取り組んでいます。7月18日には、全校道徳で「避難所運営ゲーム」を行います。生徒が、避難所を運営する立場になって、どうしたら、被災者の人たちを避難所でよりよく避難させることができるのかについて、話し合います。下福田中学校の体育館を避難所に想定し、次々と訪れる避難者にスペースを割り振ったり、避難物資を分配したりします。3学年でグループを作り、意見を出し合います。さらに、ほかのグループとも意見を交流するなど、アクティブラーニング形式で行います。被災者の情報を書いてあるカードが次々に届きます。家族同士はまとめてスペースを割り振る。子供は、飼い犬はどうしたらいい？ 救援物資が届いたが、全員に行き渡る数はない。さまざまな状況に応じて、みんなで話し合い判断していきます。現実でも起こるであろう巨大災害に真剣に向き合う機会となっております。

このようなカードです

東池 476

【東池 3
班】

てっくん
鉄筋

さん

【男 48 歳】 半壊

父、世帯主、妻

世帯主の父が心臓病、また、腕にけがをして救護所に行ったが、トリアージで応急処置を受け帰された。車で避難。

壮行会が行われました

コロナ禍で中止になっていた部活動壮行会が久しぶりに行われました。各部活、夏の大会への決意を述べました。その先輩たちの姿に、みんなから温かい拍手が送られていました。



お知らせ
素敵な表紙を描いてくれました！

キャンプの葉・
夏休みの葉・

紙面版にて
ご確認ください



保護者よりの一言
生徒氏名 (

感想をお願いします。

)